

アキール文庫解題 (タズキラ)

松村耕光

タズキラ (tazkirah) は、聖者、学者、詩人などに関する事典の類を言うが¹、ここでは、アキール文庫に所蔵されている、ウルドゥー詩人に関するタズキラについて述べることにする²。書名の横に付けられたアルファベットと数字は、アキール文庫に所蔵されている文献の識別番号である。

ウルドゥー詩人に関するタズキラがいつ頃から書かれるようになったのか、判然としないうが³、1165A.H. (1751/52A.D.) 年頃に書かれた以下のタズキラが、ウルドゥー詩人に関する、最初期のタズキラであるとされている⁴。

1. Mīr Taqī Mīr (d. 1225AH=1810/11AD), *Nikāt al-Shu‘arā*⁵, 1165A.H.
2. Khwājah Khān Ḥamīd Aurangābādī (没年不明), *Gulshan-e Guftār*⁶, 1165A.H.
3. Mirzā Afzal Bēg Khān Qāqshāl (没年不明), *Tuḥfah al-Shu‘arā*⁷, 1165A.H.

¹ 詩人のタズキラには各詩人の代表句が数多く収録されている。

² 以下のようなタズキラ研究書が出版されている。

Sayyid ‘Abdullāh, *Shu‘arā-e Urdū kē Tazkirē aur Tazkirah-Nigārī kā Fann*, Lahore, 1952.

Farmān Fateḥpūrī, *Urdū Shu‘arā kē Tazkirē aur Tazkirah-Nigārī*, Lahore, 1972.

Ḥanīf Naqṣī, *Shu‘arā-e Urdū kē Tazkirē: Nikāt al-Shu‘arā sē Gulshan-e Bē-Khār tak*, Lucknow, 1998.

Frances Pritchett のウルドゥー詩研究書 *Nets of Awareness: Urdu Poetry and Its Critics*, Berkeley & Los Angeles, 1994 にも簡単なタズキラ紹介がある。

ウルドゥー詩人に関するタズキラの内容を概観するには、主要なタズキラの詩人紹介部分を集成した、以下の文献が便利である (ペルシア語の記述はウルドゥー語に訳されている)。

Muḥammad Anṣārullāh, ed., *Jāmi‘ al-Tazkirah*, New Delhi, 3 vols, 2006-2007. (B603/15-17)

³ ウルドゥー語詩人のタズキラは、ペルシア語詩人のタズキラの影響を受けて書かれたと考えられている。現存最古のペルシア語詩人のタズキラとされているのは、Muḥammad ‘Aufī (没年不明) の *Lubāb al-Albāb* (618A.H.=1221/22A.D.頃完成)。

⁴ 序文や題名——題名に使われているアラビア文字が表す数値の合計が完成年を示すことがある——などからタズキラの完成年を知ることができるが、写本の時代には、タズキラ完成後も追加や修正が行われることがあったことに注意しなければならない。

⁵ アキール文庫には数種類収蔵されている。1935年に‘Abdul Ḥaqq (d. 1961) がアウランガーバードで出版した版も含まれている (B604/34)。約 100 名の詩人について記述されている。

⁶ アキール文庫には、Sayyid Muḥammad, ed., *Gulshan-e Guftār*, Hyderabad, 1948 (B604/30) が所蔵されている。また、以下のウルドゥー語訳も所蔵されている。

M. K. Fāṭimī, tr., *Tazkirah-e Gulshan-e Guftār*, Lucknow, 1963. (B604/239)

Gulshan-e Guftār は 30 余名の詩人に関するタズキラで、デカンと北インドの詩人が約半数ずつ扱われている。著者 Ḥamīd はアウランガーバード在住の詩人であったようである。

⁷ このタズキラは、日本ではアキール文庫にしかないようである。

Ḥafīz Qatīl, ed., *Tuḥfah al-Shu‘arā*, Hyderabad, 1961. (B604/2)

4. Sayyid Fataḥ ‘Alī Ḥusainī Gardēzī (d. 1224A.H.=1809/10A.D.), *Tazkirah-e Rēkhtah-Gōyān*⁸, 1166A.H. (1752/53A.D.)

5. Qā’im Chāndpūrī (d. 1208A.H.=1793/94A.D.), *Makhzan-e Nikāt*⁹, 1168A.H. (1754/55A.D.)

1、4、5 はデリー、2、3 はデカンで書かれたタズキラである。いずれもペルシア語で書かれている。

ウルドゥー語で書かれた最初のウルドゥー詩人のタズキラは、フォート・ウィリアム・カレッジ (Fort William College) のヒンドゥースターニー語教官ジョン・ギルクリスト (John Borthwick Gilchrist d. 1841) に依頼された Mirzā ‘Alī Luṭf (d. 1233A.H.=1817/18A.D.) が、1801年に執筆した *Gulshan-e Hind* である¹⁰。これは、‘Alī Ibrāhīm Khān Khalīl (d. ca. 1205A.H.=1790/91A.D.) の、1198A.H. (1783/84A.D.) 年に完成したタズキラ *Gulzār-e Ibrāhīm*¹¹ のウルドゥー語訳で、詩人の数が五分の一ほどに絞られているが¹²、多くの情報が追加されている¹³。

著者 Qāqshāl は、ハイデラバードの初代ニザーム、Āsaf Jāh 1 世 (r. 1724-1748) と第2代ニザーム、Nāṣir ‘Alī (r. 1748-1750) に仕えた軍人。このタズキラでは、ペルシア語詩人も含め、同時代の 60 余名の詩人が紹介されている。

⁸ アキール文庫には 2 種類収蔵されている。そのうちの一つは、1933 年に ‘Abdul Ḥaqq がアウランガーバードで出版したものである (B605/29)。97 名の詩人について記述している。レーフタ (rēkhtah) は、ウルドゥー語の古称である。

⁹ アキール文庫には、Iqtidā Ḥasan, ed., *Makhzan-e Nikāt*, Lahore, 1966 (B604/5) が収められている。「初期詩人 (mutaqaddimīn)」、「中期詩人 (mutawassiṭīn)」、「後期詩人 (muta’akhkhirīn)」の三つの区分 (ṭabqah アラビア語では ṭabaqah であるが、ウルドゥー語では 2 番目の a は脱落する) が設けられており、歴史意識の見られる最初のタズキラと称されている。

¹⁰ フォート・ウィリアム・カレッジは、カルカッタに、ベンガル総督ウェルズリー (Wellesley d. 1842) によって 1800 年に設置された、東インド会社新入社員教育機関で、ウルドゥー語教育も行われていた (このカレッジでは、ウルドゥー語はヒンドゥースターニー語と呼ばれていた)。

¹¹ 本タズキラのウルドゥー語訳は、‘Aṭā Kākvi. ed. & tr., *Tazkirah-e Gulshan-o-Gulzār*, Patna, 1968 (B604/19) にも見られる。本書には、ラクナウの詩人 Mirzā Kāzīm Khīṭāb Mardān ‘Alī Khān Mubtalā (ヒジュラ歴 1100 年代末に没したらしい) の、1194A.H. (1780A.D.) 年に完成したタズキラ *Gulshan-e Sukhan* も収録されている。両者は非常に似通っており、どちらかが模倣したのではないかと考えられている (Farmān Fatehpūrī, op. cit., p. 189)。

¹² *Gulzār-e Ibrāhīm* には 300 数十名、*Gulshan-e Hind* には約 70 名の詩人が記載されている。

¹³ 詩句の収録数を減らし、‘Abdul Ḥaqq の序文とともに、Shiblī Nu‘mānī (d. 1914) の校訂によって出版されたのは、1906 年である。アキール文庫にはこの初版が収められている。

Mirzā ‘Alī Luṭf, *Gulshan-e Hind*, Hyderabad, 1906. (B604/6)

1934 年には、Muḥī al-Dīn Qādirī Zōr (d. 1962) の序文と *Gulzār-e Ibrāhīm* の原文を追加したものが出版されている。

Sayyid Ḥaidar Bakḥsh Ḥaidarī (d. 1828) のウルドゥー語で書かれたウルドゥー詩人のタズキラもほぼ同時期に完成している (1803 年 8 月以前)¹⁴。こちらも題名は、*Gulshan-e Hind* で紛らわしいが、彼の著作集 *Guldastah-e Ḥaidarī* のタズキラ部分がこう呼ばれている¹⁵。

Luṭf や Ḥaidarī の *Gulshan-e Hind* 以降、ウルドゥー語でもタズキラが書かれるようになる。特に有名なウルドゥー語のタズキラは、1880 年に出版された、Muḥammad Ḥusain Āzād (d. 1910) の *Āb-e Ḥayāt* である¹⁶。

西欧文化の影響を受けて、文学史、文芸批評、詩人研究に関する著作が現れるようになると、タズキラは、詩人やその詩作品の紹介・批評の主要な媒体ではなくなる。タズキラが文学的重要性を持っていたのは、*Āb-e Ḥayāt* の時代までであると考えられている¹⁷。

Āb-e Ḥayāt が出版されるまでの約 130 年の間に、ペルシア語やウルドゥー語でウルドゥー詩人に関する数多くのタズキラが書かれている¹⁸。アキール文庫には基本的なタズキラは言

¹⁴ Ḥaidarī は、デリー生まれの文人で、フォート・ウィリアム・カレッジのヒンドゥースターニー語教員であった。

¹⁵ Ḥaidarī の *Gulshan-e Hind* が出版されたのは、1967 年である (Mukhtār al-Dīn Aḥmad Ārzū, ed., *Gulshan-e Hind*, Delhi, 1967)。アキール文庫には、‘Ibādat Barēlvī, ed., *Tazkirah-e Ḥaidarī (Gulshan-e Hind)*, Karachi, 1968 が収められている (B605/28)。このタズキラも *Gulzār-e Ibrāhīm* に基づくものである。Farmān Fateḥpūrī は、*Guldastah-e Ḥaidarī* は 1803 年までに出版されていたので、刊本としては Ḥaidarī の *Gulshan-e Hind* がウルドゥー語で書かれた最初のウルドゥー詩人のタズキラであると述べているが (Farmān Fateḥpūrī, op. cit., p. 223)、Jamīl Jālibī は、*Guldastah-e Ḥaidarī* は出版されなかったと述べている (Jamīl Jālibī, *Tārīkh-e Adab-e Urdū*, vol.3, Lahore, 2006, p. 468)。

¹⁶ Āzād は、本書において、詩人を雅号のアリフ・ペー・ペー順に配列したり、無秩序に配列したりする、従来の、個々の詩人に着目するタズキラのスタイルを廃し、詩人を活動年代に応じて配列し、ウルドゥー詩史の全体的な流れを段階的に叙述しようと試みている。

Āb-e Ḥayāt は英訳されている。Frances Pritchett, tr., *Shaping the Canon of Urdu Poetry: Āb-e Ḥayāt*, New Delhi, 2001。

¹⁷ Farmān Fateḥpūrī のタズキラ研究書 *Urdū Shu‘arā kē Tazkirē aur Tazkirah-Nigārī*, 44-46 頁を参照。本書は *Āb-e Ḥayāt* までしか扱っていない。現代でもタズキラは編纂されており、詩人事典、詩人名鑑、詞華集として重要である。*Āb-e Ḥayāt* より後に書かれたタズキラに関する研究が必要であろうと思われる (アキール文庫には、*Āb-e Ḥayāt* より後に書かれたタズキラも所蔵されている)。

¹⁸ フランスのウルドゥー文学研究者 Garcin de Tassy (d. 1878) がフランス語で著した、*Histoire de la Littérature Hindoue et Hindoustani* もタズキラのスタイルで書かれている (第 1 巻、1839 年。第 2 巻、1847 年。パリで出版)。後年、増補改訂版がパリで出版された (第 1 巻、第 2 巻、1870 年。第 3 巻、1871 年。パリで出版)。本書の初版第 1 巻は、Karīm al-Dīn と F. Fallon によってウルドゥー語に翻訳され、大きな影響を与えた (Karīm al-Dīn and F. Fallon, *Ṭabqāt al-Shu‘arā-e Hind*, Delhi, 1848)。これは単なる翻訳ではなく、Karīm al-Dīn によって大幅に加筆されている。Fallon は、フランス語を解さない Karīm al-Dīn のために原文を英訳しただけであると推測されている。アキール文庫には、‘Aṭā Kākvī が編集した版が収められている。‘Aṭā Kākvī, ed., *Tazkirah-e Ṭabqāt al-Shu‘arā-e Hind*, 4 vols, Patna, 1963-1971. (B602/5-8) 題名には混乱が見られる。Karīm al-Dīn の序文には *Ṭabqāt-e Shu‘arā-e Hind* と名付けたとあり、最終頁には *Ṭabqāt al-Shu‘arā-e Hind* 完とある。表紙には題名は記載されていないようである。‘Aṭā Kākvī 編集版の第 4 巻 (1963 年) の題名は、*Ṭabqāt-e Shu‘arā-e Hind* となっているが、

うに及ばず、貴重なタズキラも数多く収蔵されている。それらのいくつかを以下に簡単に紹介しておく。

*Tazkirah-e Shōrish (Rumūz al-Shu‘arā)*¹⁹

アズィーマーバード（‘Azīmābād パトナ）の詩人 Sayyid Ghulām Ḥusain Shōrish (d. 1195A.H.=1780/81A.D.) の、260 余名の詩人に関するタズキラ（ペルシア語）。1191A.H. (1777/78A.D.) 年、完成。アズィーマーバードで書かれた、ウルドゥー詩人に関する最初のタズキラである²⁰。Maḥmūd Ilāhī は、当時のデリーの詩壇は、Khān-e Ārzū (d. 1169A.H.=1755/56A.D.) 派と Maḥzar Jān-e Jānān (d. 1781) 派に分かれており、後者に属していた Shōrish は、後者に属する詩人を低く評価した、Khān-e Ārzū 派の Mīr のタズキラ *Nikāt al-Shu‘arā* を本タズキラで厳しく批判していると述べている²¹。

Maḥmūd Ilāhī, ed., *Tazkirah-e Shōrish yā Rumūz al-Shu‘arā*, Lucknow, 1984. (B605/14)

本タズキラは、*Tazkirah-e ‘Ishqī* とともに²²、Kalīm al-Dīn Aḥmad, ed., *Dō Tazkrē*, 2 vols., Patna, 1959, 1963. (B605/5,6) にも収録されている²³。Maḥmūd Ilāhī 編集版は、ジャウンプル (Jaunpur) で発見された写本に基づいており、Kalīm al-Dīn Aḥmad 編集版は、オックスフォードのボードリアン図書館にある写本に基づいている。Maḥmūd Ilāhī によれば、両者には大きな異同があり、後者には Shōrish 以外の者の手が加っている²⁴。

Majma‘ al-Intikhāb

Shāh Muḥammad Kamāl (没年不明) の、約 200 数十名の詩人に関するタズキラ（ペルシア語）。1218A.H. (1803/04A.D.) 年、完成。Kamāl は北インドの詩人・文学愛好家——アラハバード出身で、ラクナウーに居住していた——であるが、ハイデラバードに赴いた際に書かれたタズキラであるので、ハイデラバードの詩人についても記述がある。*Ṭabqāt*

そのあと刊行された、第3巻(1967年)、第2巻(1971年)、第1巻(1971年)は *Ṭabqāt al-Shu‘arā-e Hind* となっている。Maḥmūd Ilāhī は、*Ṭabqāt-e Shu‘arā-e Hind* が正しいと述べている (*Ṭabqāt-e Shu‘arā-e Hind*, Lucknow, 1983, p. tē)。尚、Garcin de Tassy の増補改訂版の主要部分は原著からウルドゥー語に翻訳され、出版されている。Liliane Sixtine Nazroo, tr., *Tarīkh-e Adabiyāt-e Urdū*, Karachi, 2015. 校閲者はアキール博士である。

¹⁹ *Rumūz al-Shu‘arā* が正式な題名で、*Tazkirah-e Shōrish* は通称である。

²⁰ Maḥmūd Ilāhī, ed., *Tazkirah-e Shōrish yā Rumūz al-Shu‘arā*, Lucknow, 1984, p. 9.

²¹ Maḥmūd Ilāhī, op. cit., pp. 34-35.

²² *Tazkirah-e ‘Ishqī* は、アズィーマーバード (パトナ) の詩人 Shaikh Muḥammad Wajīh al-Dīn ‘Ishqī (没年不明) の、400 数十名の詩人に関するタズキラである (ペルシア語)。1211A.H. (1796/97A.D.) 年、完成。

²³ *Dō Tazkrē* は、左ページが *Tazkirah-e ‘Ishqī*、右ページが *Tazkirah-e Shōrish* で、記述が比較できるようになっている。

²⁴ Maḥmūd Ilāhī, ed., op. cit., pp. 10-11.

al-Shu‘arā, *Gul-e Ra‘nā* とともに、Niṣār Aḥmad Fārūqī が編集した *Tīn Tazkirē* に収録（抄録）されている²⁵。

Niṣār Aḥmad Fārūqī, ed., *Tīn Tazkirē*, Delhi, 1968. (B603/12)

Ṭabqāt-e Sukḥan

メーラトの詩人 Shaikh Ghulām Muḥī al-Dīn (d. 1826) のタズキラ（ペルシア語）。初めは *Mubtalā* と号したが、後に *‘Ishq* と改めた。1222A.H. (1807/08A.D.) 年、完成。約 200 名のウルドゥー詩人を扱っている。第 1 のタブカ（区分）ではウルドゥー詩人を、第 2 のタブカでは、自作品からの抜粋や父親のペルシア詩などを扱おうとしていたが、第 2 のタブカは完成しなかったようである²⁶。

Nasīm Iqtidār ‘Alī, ed., *Shaikh Ghulām Muḥī al-Dīn Mubtalā wa ‘Ishq Mēraṭhī kā Tazkirah-e Ṭabqāt-e Sukḥan*, New Delhi, 1991. (B605/22-23)

Tazkirah-e Āzurdah

デリーの判事、学者、詩人 Muḥī Ṣadr al-Dīn Āzurdah (d.1868) が編んだタズキラ（ペルシア語）。アキール文庫には 1974 年にカラチの *Anjuman-e Taraqqī-e Urdū* から刊行されたものが収められている。雅号のアリフ・ベアー・ペー順に詩人が配列されているが、雅号が文字 *qāf* で始まる詩人までしか収録されていない。未完なのか、残りの部分が失われてしまったのか、不明である。Mukhtār al-Dīn Aḥmad は、1229A.H. (1813/14A.D.) 年から 1233A.H. (1817/18A.D.) 年の間に書かれたのではないかと推測している²⁷。

Mukhtār al-Dīn Aḥmad, ed., *Tazkirah-e Āzurdah*, Karachi, 1974. (B604/40)

Tazkirah-e Shaukat-e Nādirī

*Tazkirah-e Nādirī*²⁸

Tazkirah-e Shaukat-e Nādirī は、1247A.H. (1831/32A.D.) 年にアラハバードで編まれた、バーナラス出身の詩人 Mīrzā Kalb-e Ḥusain Khān Nādir (d. 1878) のタズキラ（ペルシア語）。

²⁵ *Ṭabqāt al-Shu‘arā* は、ラームプルの詩人 Qudratullāh Shauq (d. 1809) のタズキラ（ペルシア語）。1189A.H. (1775/76A.D.) 年頃、完成。Ḥakīm Sayyid ‘Abd al-Ḥaiy (d. 1923) がウルドゥー語で書いたウルドゥー詩人のタズキラ（1924 年頃出版）や Ghālib (d. 1869) が 1828 年に編んだ、ウルドゥー詩、ペルシア詩自選集の題名も *Gul-e Ra‘nā* で紛らわしいが、*Tīn Tazkirē* に収録されているのは、アウランガーバードの詩人 Lachchmī Narāyin Shafīq (没年不明) の、インドのペルシア語詩人に関する、1182A.H. (1768/69A.D.) 年頃完成したタズキラ（ペルシア語）。

²⁶ Nasīm Iqtidār ‘Alī, ed., *Shaikh Ghulām Muḥī al-Dīn Mubtalā wa ‘Ishq Mēraṭhī kā Tazkirah-e Ṭabqāt-e Sukḥan*, New Delhi, 1991, p. 69.

²⁷ Mukhtār al-Dīn Aḥmad, ed., *Tazkirah-e Āzurdah*, Karachi, 1974, p. 14.

²⁸ Farmān Fatehpūrī の *Urdū Shu‘arā kē Tazkirē aur Tazkirah-Nigārī* では、*Tazkirah-e Nādirī* と誤記されているところがある。

アラハバード在住のウルドゥー語詩人、ペルシア語詩人 70 余名が記載されている。アキール文庫には、1984 年にラクナウで出版されたウルドゥー語訳が収められている。

Tazkirah-e Nādir は、1283A.H. (1866/67A.D.) 年に編まれ、翌年、ファテガル (Fatehgarh) で出版された、Nādir の、ムハッマス (muḥammad) 詩型のウルドゥー語詩を集めた *Dīwān-e Gharīb* に含まれていた 500 数十名の詩人紹介部分 (ウルドゥー語) を Mas'ūd Ḥasan Rizvī Adīb が独立させて出版したものである²⁹。

Shāh 'Abd al-Salām, ed. & tr., *Tazkirah-e Shaukat-e Nādirī*, Lucknow, 1984. (B604/37)

Mas'ūd Ḥasan Rizvī Adīb, ed., *Tazkirah-e Nādir*, Lucknow, 1957. (B604/26)

Intikhāb-e Dawāwīn

デリー・カレッジのペルシア語教員でもあった、著名なペルシア語学者 Imām Bakḥsh Ṣaḥbā'ī (d. 1857) のタズキラ (ウルドゥー語)³⁰。デリー・カレッジ校長 Felix Boutros (d. 1864) の指示を受けて 1842 年に編まれ、1844 年にデリーで出版された。12 名のウルドゥー語詩人の代表句が数多く収められている。詩人の紹介は極めて簡潔である。巻頭には詩型の簡単な解説があり、巻末にはギート (gīt 歌) の短い章がある³¹。出版されたことが確認できる、最も古い、ウルドゥー語で書かれたウルドゥー語詩人のタズキラではないかと思われる³²。アキール文庫には、1987 年に Delhi University のウルドゥー語学科が出版したものが収められている。

Tanvīr Aḥmad, ed., *Intikhāb-e Dawāwīn*, Dehli, 1987. (B603/18)

Guldastah-e Nāznīnān

Ṭabqāt al-Shu'arā-e Hind の編者として有名な Karīm al-Dīn のタズキラ (ウルドゥー語)³³。1844 年、完成、1845 年、デリーで出版。40 名近くの詩人を扱っている。Farmān Fatehpūrī が

²⁹ ムハッマスは、一連 5 詩句より成る連詩。

³⁰ デリー・カレッジは、イギリスの援助を受けて 1825 年に開校した、ウルドゥー語を教育用語とする高等教育機関。*Āb-e Ḥayāt* の著者 Muḥammad Ḥusain Āzād は、デリー・カレッジの学生であったときに Ṣaḥbā'ī の教えを受けている。

³¹ 大部分は、Jur'at (d. 1224A.H.=1809/10A.D.) のガザルである。歌われていたのであろう。

³² *Intikhāb-e Dawāwīn* 以前にウルドゥー語で書かれたウルドゥー語詩人のタズキラとして知られているのは、19 世紀初頭に書かれた Luṭf の *Gulshan-e Hind* 及び Ḥaidarī の *Guldastah-e Ḥaidarī*、1812 年に完成した Binī Narāyin Jahān (没年不明) の *Dīwān-e Jahān* であるが、出版されたかどうか不明である。Garcin de Tassy は、*Histoire de la Littérature Hindoue et Hindoustani* (第 2 版) の序文で、参考にしたタズキラとしてこれらのタズキラも挙げているので、何らかの形で流通していたのではないかと思われる。*Dīwān-e Jahān* は、フォート・ウィリアム・カレッジのヒンドゥースターニー語教官 Thomas Roebuck (d. 1819) の要請で書かれたタズキラで、Kalīm al-Dīn Aḥmad の編集で 1959 年にパトナで出版されている (大阪大学附属図書館所蔵)。

³³ Karīm al-Dīn はパーニーパト出身で、デリー・カレッジ卒業生。Agra Government College の教員やパンジャブ州政府の教育行政職員を務めた。

指摘しているように³⁴、*Ṣaḥbā'ī* のタズキラ *Intikhāb-e Dawāwīn* の強い影響が詩人紹介の記述に見受けられる。女流詩人も収録されている。アキール文庫には、1972 年にパトナで出版されたものが収められている。これは詩句が除かれた簡略版である。

Aḥmar Lālī, ed., *Guldastah-e Nāznīnān*, Patna, 1972. (B602/4)

Sarāpā Sukhan

ラクナウーの詩人 Sayyid Muḥsin ‘Alī (没年不明) のタズキラ (ウルドゥー語)。1269A.H. (1852/53A.D.) 年、完成、1277A.H. (1860/61A.D.) 年、ラクナウーで出版。700 数十名の詩人を扱っている。普通のタズキラとは異なり、頭から足裏までの体の部位をラディーフ (radīf 反復される脚韻部) に含むガザルを部位ごとに集め、詩人の簡単な紹介を加えたものである。アキール文庫には以下の、詩句の除かれた簡略版が収められている。

Sayyid Sulaimān Ḥusain, ed., *Talkhīṣ-e Tazkirah-e Sarāpā Sukhan*, Lucknow. 1967. (B606/11)

Iqtidā Ḥasan, ed., *Tazkirah-e Sarāpā Sukhan*, Lahore, 1970. (B606/5)

Nuskah-e Dil-kushā

Muntakhab al-Tazkirah

Nuskah-e Dil-kushā は、カルカッタのウルドゥー詩人 Rājah Janam Jī (Janamējaya) Mitra Armān (d. 1869) のタズキラ (ウルドゥー語)。Muḥammad Hārūn Qādir によると、このタズキラは 2 部構成になっており、第 1 部 (tartīb-e awwal) には男性の詩人 791 名、第 2 部 (tartīb-e duvum) には女性詩人 23 名と雅号不明の詩人の詩句が収録されている³⁵。1854 年、完成。印刷作業の途中で Armān が死去したため、1870 年に、第 1 部の、文字 kāf で始まる詩人の項の途中までが、第 1 巻としてカルカッタで出版された。出版に至らなかった原稿は、Garcin de Tassy に送られた。アキール文庫に収められている、Muḥammad Hārūn Qādir 編集の *Nuskah-e Dil-kushā* は、1870 年に出版されなかった部分を編集・出版したものである。

Muntakhab al-Tazkirah は、Armān が 1849 年に編んだ、約 350 名のウルドゥー詩人に関するタズキラ (ウルドゥー語) で、1989 年になるまで出版されなかった。

Muḥammad Hārūn Qādir, ed., *Nuskah-e Dil-kushā*, Lahore, 2010. (B605/24)

Ra'īs Anwar, ed., *Muntakhab al-Tazkirah*, Calcutta, 1989. (B605/26)

Riyāz al-Firdaus

シャージャハーンプル (Shāhjāhānpūr) に居住していた Muḥammad Ḥusain Khān (没年不明) のタズキラ (ウルドゥー語)。1867 年、ラクナウーで出版。元々はアラビア語、ペルシア語、ウルドゥー語の文学作品や論文を集めたものであったが、ウルドゥー語部分に含まれていたタズキラを Murtaẓā Ḥusain Fāzil が、*Tazkirah-e Riyāz al-Firdaus* の題名で出版した。

³⁴ Farmān Fatehpūrī, op. cit., pp. 323-326.

³⁵ Muḥammad Hārūn Qādir, ed., *Nuskah-e Dil-kushā*, Lahore, 2010, p. 27.

200 数十名の詩人を扱い、代表句 1 詩句のみ記載している。1837 年にデリーで出版された、Muṣṭafā Khān Shēftah (d. 1869) の有名なタズキラ *Gulshan-e Bē-Khār* (ペルシア語) に基づいて本タズキラは編纂されたと編者 Fāzil は述べている³⁶。

Murtazā Ḥusain Fāzil, ed., *Tazkirah-e Riyāz al-Firdaus*, Lahore, 1968. (B606/7)

Qit'ah -e Muntakhab

カルカッタ生まれのウルドゥー詩人 'Abd al-Ghafūr Khān Nassākh (d. 1889) の著作 (ウルドゥー語)。1874 年、ラクナウで出版された。ウルドゥー詩人約 100 名の、キトア (qit'ah) 詩型の詩が収められている³⁷。詩人紹介も、きわめて簡単であるが、行われており、タズキラとしての側面を持っている。アキール文庫には初版が収められている。

'Abd al-Ghafūr Khān Nassākh, *Tazkirah-e Muqatta'āt-e Urdū musammā bah-nām-e tārikhī Qit'ah -e Muntakhab*, Lucknow, 1874. (B605/11)

Intikhāb-e Yādgār

ラクナウの有名なウルドゥー詩人 Amīr Mīnā'ī (d. 1900) のタズキラ (ウルドゥー語)。1290A.H. (1873A.D.) 年、完成。1297A.H. (1880A.D.) 年、ラームプル (Rāmpur) で出版。ラームプルと関係のあった 400 余名の詩人を扱う。ラームプル在住時にラームプル太守 Kalb-e 'Alī Khān (r. 1865-1887) の指示を受けて書かれた。2 部構成になっており、第 2 部が詩人のタズキラで、第 1 部はラームプル藩王国の支配者列伝である。

Amīr Mīnā'ī, *Intikhāb-e Yādgār*, Lucknow, 1982. (B606/10)

'Arūs al-Azkār

ハイデラバードの詩人 Naṣīr al-Dīn Aḥmad Naqsh (d. 1327A.H.=1909/10A.D.) のタズキラ (ペルシア語)。1292A.H. (1875/76A.D.) 年、完成。同時代のデカンの 370 名の詩人を主に扱う。本書以前にデカンの詩人を中心的に扱ったタズキラは、アウランガーバード出身の詩人 Asad 'Alī Khān Tamannā (d. 1204A.H.=1789/90A.D.) が 1194A.H. (1780 A.D.) 年頃にペルシア語で書いた *Gul-e 'Ajā'ib* で³⁸、'Arūs al-Azkār が書かれるまでの約 100 年間、デカンの詩人に関するタズキラは書かれていなかった³⁹。

Afsar Ṣiddiqī Amrōhwī, ed., *Tazkirah-e 'Arūs al-Azkār*, Karachi, 1975. (B608/4)

³⁶ Murtazā Ḥusain Fāzil, ed., *Tazkirah-e Riyāz al-Firdaus*, Lahore, 1968, p. 15.

³⁷ キトアは、2 行以上の、同一の脚韻を持つ定型詩。

³⁸ アキール文庫には、*Gul-e 'Ajā'ib* も所蔵されている。Asad 'Alī Khān Tamannā Aurangābādī, *Gul-e 'Ajā'ib*, Aurangabad, 1936. (B604/29)

³⁹ Afsar Ṣiddiqī Amrōhwī, ed., *Tazkirah-e 'Arūs al-Azkār*, Karachi, 1975, p. 2.